

各講座の学習内容一覧表（年間）

<教養コース・選択コース共通>

教 養 (必須)	※1 木曜日	会 場	時間（事務連絡の内容により、多少前後する場合があります）		講 座 概 要
		※2 西宮市民会館 アミティホール	選 択 コース	10:30 ~ 12:10 ※2 (事務連絡含む)	学 習 内 容
			教 養 コース	13:30 ~ 15:40 ※2 (事務連絡・交流会含む)	生きかた・暮らしかた・健康づくり・まちづくり・社会の動き・文化などの一般教養を学ぶ講座です。また、皆様にぜひ知っていただきたい市の取り組みについても取り上げます。
1	5/24	開講式・記念公演 ～力強く、どこか懐かしい日本の音色～ 和太鼓・民謡舞踊コンサート	和太鼓・民謡舞踊 井上姉妹 井上 朋美 真澄		生まれ育った西宮の地から、伝統と革新が融合する日本の和のエンターテインメントを、世代を超え、もっと沢山のの人に広めたいという想いを胸に活動している井上姉妹のお二人。和太鼓・三味線・篠笛あり！踊りあり！笑いあり！解説と共に、力強く懐かしい日本の音色に乗せ、明日への活力と笑顔をお届けします。
2	6/18 (月)	歌舞伎への招待 ～魅力がつまった古典芸能～	歌舞伎役者 市川 九團次		日本固有の演劇であり、古典芸能である歌舞伎。「板につく」「十八番（おはこ）」など、歌舞伎から生まれた言葉は沢山あり、関心はあるけれども普段から見る機会はそう多くありません。現役の歌舞伎役者である市川九團次丈から、歌舞伎の魅力を実演を交えながら余すことなくお話しいただきます。
3	6/28	くらしに身近な保健所 ～お薬を正しく飲んでいますか？～	西宮市薬剤師会 薬剤師 金光 伴訓 西宮市保健所 職員		健康づくりや各種検診、食中毒対策などくらしに身近な業務を行っている保健所。いざという時のことや日常の健康などについて、お話しします。また、お薬のプロである薬剤師から、正しい服薬の方法などを学び、お薬の知識を深めましょう。
4	7/26	まちにあふれる「仕掛学」	大阪大学大学院経済学研究科 教授 松村 真宏		「仕掛学」は、人の行動を変える“仕掛け”を対象にした新しい学問分野です。例えば、ゴミ箱をただ設置してもゴミを捨てたくはなりません、ゴミ箱の上にバスケットゴールを付けるとゴミでシュートしたくなり、結果的にゴミ捨て行動が促進されます。行動を強制するのではなく、魅力的な選択肢を増やすことで目的に誘う「仕掛学」に触れてみましょう。
5	8/9	映画『いしぶみ』を見て	映画『いしぶみ』(85分)を鑑賞		碑（いしぶみ）に刻まれた旧制・広島二中の一年生321人。昭和20年8月6日、建物の解体作業のため広島市の中心部を流れる本川の土手に集まっていた彼らは、わずか500メートル先に投下された原子爆弾で全員が命を奪われました。あの日、彼らに何が起こったのでしょうか…。最後の日の言動は、遺族の手記に残されていました。朗読と関係者へのインタビューを通して、70年を経てなお残る「物語」の続きを伝えます。
6	8/30	生涯現役でいるための健康学	京都大学 名誉教授 京都産業大学・中京大学 客員教授 森谷 敏夫		健康な生活を送るには、バランスのとれた食事と適度な運動が欠かせません。特に日常的な運動は、生活習慣病のもととなる肥満を防ぐだけでなく、記憶などを司る海馬での脳由来神経栄養因子を増加させることが明らかになっています。学習脳や記憶力の増加、認知症の予防なども期待出来るでしょう。元気で豊かな生活を送るにはどうしたらいいのか、考えてみましょう。
7	9/27	関西経済の活性化策 ～経済効果と独創性～	関西大学・大阪府立大学 名誉教授 宮本 勝浩		関西経済の活性化策についてお話をします。具体的には、阪神タイガースが優勝した時の経済効果や観光の経済効果がいかに大きいかということや、関西の経済を活性化させるには「消費者のニーズに合った独創的な製品やサービス」を創り出すことが必要であることなどについてお話をします。
8	10/25	浪速の弁護士の コミュニケーション術	弁護士 角田 龍平		同じ成果でも、何をどう伝えるかによって顧客満足度は大きく変わってきます。元漫才師の経歴を持ち、おもしろくてわかりやすいトークを繰り広げる講師から、一筋縄ではいかない大阪のおっちゃん・おばちゃんとは日々交渉する中で体得した浪速弁護士の実践的コミュニケーション術を学びます。
9	11/22 (木) 11/23 (金)	宮水学園祭	宮水学園受講者による 展示と舞台発表		展示の部は、各コースや自主グループおよび個人受講者の作品を展示発表します。舞台の部は、各コースと自主グループの舞台発表です。
10	12/20	映画 『サンタクロースになった少年』を見て	映画『サンタクロースになった少年』(80分)を鑑賞		舞台はフィンランドの寒村。クリスマスに事故で両親と妹を失い一人ぼっちになった主人公が、村の人々との触れ合いを通じて成長し、毎年クリスマスに感謝の気持ちを込めて村の子供たちへ密かにプレゼントを贈ります。家族や友人、ご近所さん。人の優しさに触れて、身近な人への感謝の気持ちや家族との絆を大切に感じる、心が温まるファンタジックな物語です。
11	3/14 (13:00～)	修了式・記念公演 歌はよるこび そして 心の架け橋 ※会場：武庫川女子大学公江記念講堂	フォーク・デュオ 紙ふうせん		「紙ふうせん」の後藤悦治郎さんと平山泰代さんは、デュエットを組んで50年になります。西宮から全国、世界へと音楽を発信し続けてこられたのは、何が源泉となっているのか、そして1995年の震災を経て「翼をください」の歌が持つ力や、「冬が来る前に」の歌が誕生したエピソード等をお話頂きます。楽曲も聞いて1年間の学習を振り返り、明るく元気に前向きに、たくさん力を蓄えてください。

※1：6月18日の第2回教養講座は月曜日。

※日程や学習内容は変更することがあります。

※2：3月14日の修了式は、武庫川女子大学公江記念講堂にて13時から、教養・選択コース合同で実施。